

乳幼児健診の場を活用して親子にアプローチ

兵庫県三田市

地域の状況

- ◆ 兵庫県三田市 人口 114,151 人、世帯数 41,213 世帯（H20 年 12 月末）
- ◆ 小学校 20 校（児童数 7,488 人）、中学校 8 校（児童数 4,226 人）（H20 年 4 月末）
- ◆ 児童委員数 212 人、主任児童委員数 10 人

活動内容等

1. 乳幼児健診時、親子にアプローチする「くつろぎひろば」活動

近年、子育てへの不安感、負担感、孤立感を持つ保護者が増えていることから、三田市民生委員児童委員協議会では支援活動が重要であると考え、平成 16 年度から市の実施する乳幼児健診に合わせて、会場の一角で「くつろぎひろば」を実施している。新生児をもつ親と知り合い、育児の相談やサポート活動を行うため、月 2 回の 4 か月児健診に訪れた親子に主任児童委員が声かけを行っている。初めての子育ての場合、その初期は特にストレスを受けやすく、母親にとって最も不安な時期であり、またそれだけに他者とのふれあいを求める時でもある。

総合福祉保健センターで行う健診には、毎回 30～40 組の親子が訪れる。健診を終えて会場から出てきた親子に主任児童委員が声をかけるのだが、この声かけのタイミングが重要である。健診を終えてほっとしているところに「おつかれさまでした。少し休んで行きませんか」と声をかけ、どのように育児をしているか、育児を手伝ってくれる人はいるかなど、名前を聞かないようにして話を聴く。そして、「何かお手伝いできることや、困ったことなどがあれば気軽に相談してくださいね」と主任児童委員の名簿とリーフレットを渡し、区域担当児童委員・主任児童委員の存在を知らせている。その際、子育て支援活動を実施している施設や、医療機関・スーパーなどの情報提供も行っている。無理には引き止めず、リーフレットを渡すだけの人もいる。

健診では聞けなかったことなどの相談を受けた主任児童委員は、保健師へフィードバックするという双方向の関係を大切にしている。

「くつろぎひろば」では、親子と主任児童委員が知り合うだけでなく、親同士が知り合う場にもなっている。また、地域の外国人には、日本語を学べるサロンを紹介するなど、親子が地域社会へ参加する入口としての役割を担っている。

★具体的な内容★

- 月2回、水曜日（受付 12：45～14：00 活動 13：00～15：30）
- 主任児童委員2人（民児協エプロン・名札 着用）
- リーフレット等を渡す。
- 子育ての様子を聞く。
- その日の様子をノートに記録し、保健師につなげる。
- 話したい人とは、イスにすわり赤ちゃんの様子を見ながら話をする。
 - ① ママ友達がほしい
 - ② 赤ちゃんの兄姉の話
 - ③ 家族間の話（親子・夫婦・ステップファミリー・おじいちゃん・おばあちゃん）
 - ④ 生活上の話 など
- 気になることは、保健師や栄養士に伝える。

2. 活動のきっかけ・経緯

平成16年7月に、主任児童委員から市の保健師に、健診後の保護者（特にお母さん達）に声かけをさせてもらえないかと申し出て、平成16年9月から実施



まず、今の保護者はどのような子育てをしているかを知りたいと思った。子育て中の親子とふれあう機会をつくろう、それもさりげなく、出来るだけ多くの親子に接したい。子育てのはじめは、ストレスを受けやすいと同時に人とのふれあい・関わりを求めている時でもある。人の話も聞き入れやすいと思われる4か月児健診時が適切だと考え、「くつろぎひろば」と名づけて実施に至った。

3. 事実施にあたって工夫した点、苦労した点、立ち上げ時のポイント等

- カウンセラーによる研修「初対面の人との接し方」
 - ・ 初対面の人に不信感を抱かせたり、余分なストレスをかけないために、どう言葉かけすればいいか、声かけのタイミングなど。
 - ・ 最初は周辺のことや共通の話題から・・・「いいお天気ですね」「雨で大変でしたね」「暑かったですでしょう」など。
 - ・ ねぎらいのことばをかける。
 - ・ つながる言葉かけで見送る。・・・「一人でがんばりすぎないで」「誰かに相談してね」など。



〈周知の事例〉

- リーフレットと主任児童委員の担当区域・氏名・電話番号を記載した名簿を手渡ししている。(下記 リーフレット)
- 地域の情報提供 (多世代交流館、スーパー、医療機関、外国人の集い 等)

リーフレット

平成18年5月 新リーフレット『親も子も一緒に育とう』を作成
(A4サイズ 両面、三ツ折り)

- 表紙には「ぞうさん親子のイラスト」
- 見開きしやすいように少しずらして作成
- 左側には「児童憲章」
- 中央には「くねくね花」
 - ・子どもも親も成長していく過程を表現
 - ・中学生の所にイモ虫くんが葉っぱをかじっている。
 - ・この頃の心の揺れ、それに対して大人の気持ちを右側に表わしている。
- 右側には「関係機関」
- 裏面には「担当校区と事務局の連絡先」

〈リーフレット〉

かまきりに
ちゅうくつに
こころを
まなぶの
かまきり



主任児童委員担当校区

三田 地区	三田幼稚園 三田保育園 よこやま・三田こぼし／保育園 三田・富士・学園／小学校 富士・八景／中学校
三輪 地区	三輪・松ヶ丘・志手原／幼稚園 三輪・松ヶ丘・志手原／小学校 八景・上野台／中学校
広野 地区	広野幼稚園 広野・弘が丘・すすかけ台・けやき台・ゆりのき台・学園／小学校 けやき台・ゆりのき台・長坂／中学校
小野・高塚 地区	小野・小野・高塚／幼稚園 小野・小野・高塚／小学校 上野台／中学校
新・本庄 地区	新・本庄・つじが丘／幼稚園 新の保育園 新・本庄・つじが丘・広野／小学校 新・長坂／中学校
フラワータウン 地区	土橋第一・さち・やまいふし／幼稚園 ゆづかり保育園 筑摩・夜間・夜生・富士／小学校 筑摩・富士／中学校
オザサキ 地区	土橋中央・けやき台／幼稚園 有馬・キッズポート／保育園 すすかけ台・けやき台／小学校 けやき台／中学校
あけのぼり 地区	あけのぼり・三田駅前・土橋学園／幼稚園 あけのぼり保育園 あけのぼり・ゆりのき台・学園／小学校 ゆりのき台／中学校

上記以外の保育園・幼稚園児童クラブも担当校区に準じます。
三田市民生児童委員協議会事務局 TEL 559-5391 FAX 559-5365

親子もつよよた育とう




**三田市
民生児童児童委員協議会**



児童憲章

- 児童は、人として尊ばれる。
- 児童は、社会の一員として重んぜられる。
- 児童は、よい環境の中で育てられる。



自分で育つ力をもって生まれる

関係機関

- ◆ 家庭児童相談室
TEL 559-5076 FAX 562-1294
- ◆ 保健センター
TEL 559-5701 FAX 559-5705
- ◆ 青少年育成センター
TEL 563-1110 FAX 563-1339
- ◆ 多機能児童センター (365point)
- 子育て支援U365 TEL 563-8461
FAX 563-8462
- シニアユースのぞみ TEL 563-8475
FAX 563-8481
- ◆ 地域子育て支援センター
TEL 563-8050 FAX 569-3861
- ◆ ファミリーサポートセンター
TEL 559-6995 FAX 562-8422
- ◆ まちづくり活動センター
- 市民活動課事務局
TEL 563-8005 FAX 563-8001
- ◆ 健康福祉事務所 (保健所)
TEL 562-6052 FAX 563-6097
- ◆ 課 税 署
TEL 563-0110 FAX 562-0110
- ◆ 別館 (時間外の小児救急)
TEL 594-0119 FAX 593-1230
- ◆ 西宮こども発達センター(別館)分室
TEL 672-754-6633 FAX 672-754-6006
- ◆ 市内幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校

